

令和 6 年度

赤塚第二中学校 学校説明会

令和 6 年 9 月 6 日（金）

生徒の主体的な学びを探究する教育実践校



本日は学校説明会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

1 生徒の学び

学校生活の中で最も大切にしてほしいことが、各教科等の授業です。本校では、『生徒の主体的な学び』について研究を深めています。具体的には、電子黒板、Chromebook 等の I C T 機器を活用しながら、「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指した探究的な学習、さらには、多様な他者との関わりから新たな知識を獲得する協働的な学習等によって、「自ら課題意識をもち、お互いに関わり合いながら主体的に自分づくりや社会づくりに取り組む生徒の育成」を目指しているところです。

(1) 確かな学力への取り組み例

- 赤二タイムの展開
基礎・基本の徹底を重視した学習
朝読書や朝学習などの実施
- 学力向上専門員による支援
夏期休業中の補習講座
放課後のスタディールームの開設
- 学習到達度の把握
小テストなどを活用した達成率向上の工夫等

(2) 探究型の教育の実践例

- 各教科等の授業において、板橋区授業スタンダードをもとに「課題設定→情報収集→整理・分析→表現」という学習活動の展開
- I C T 機器の活用
生徒の関心を高める教材の工夫
- 互いの思考を交流させることで、新たな見方・考え方を創造できる学習形態
- 互いに参観する教職員研修の充実
提案授業の実施、外部機関との協働研究

(3) 特色ある実践事例

● 教科センター方式

登校後、ホームルームにて朝の学活を終えた後、生徒は教科ごとに教室を移動します。各教科それぞれ教室が異なるため、毎時間、全校生徒が移動をします。4校時終了後、一度ホームルームに戻り、給食を食べます。給食終了後、5、6校時の準備をして再び授業に向かいます。最後に再びホームルームに戻り帰りの学活をして1日が終わります。また、教科ごとに「学びのひろば」という場所があり、生徒たちが作った教科に関する資料を掲示しています。教化センター方式では、学年の垣根を越えて、生徒同士が助け合い、そして協力しながら学習を進めていきます。

● 小中一貫教育

成増ヶ丘小、成増小と本校の3校で「学びのエリア」として連携を行っています。お互いの授業に参観して授業研究を行っている他、夏期休業中に中学生が学習支援を行うリトルティチャー、中学校の授業を体験するビッグティチャーなどがあります。

● 協働・探究的な学び

生徒会活動の積極的な自治活動の推進、学校行事や総合的な学習の時間及び道德等との教科横断的な学習活動の展開

▼教科センター方式の活用（I C T 機器、学びのひろば、掲示物の工夫など）



↑ 英語のひろばの掲示物



↑ クロームブックを使用した授業



↑ グループでの学習の様子

2 進路指導の充実

本校では自らの進路を主体的に考える生徒を育てるため、7年生(中学1年生)から計画的にキャリア教育を推進しています。中でも進路指導



においては、「職業を知ろう」、「上級学校って？」の単元を設定しています。また、職場体験、福祉体験などの体験学習も実施しています。9年生(中学3年生)では一人一人の進路希望の自己実現が図れるよう、本人・保護者・学校で連携し、個に応じた進路指導を実践しています。

<参考> 進学・合格実績のある主な上級学校(過去5年間)

国公立 : 東京工大附属、東京高専、筑波大付属坂戸、青山、飛鳥、井草、板橋、板橋有徳、上野、園芸、王子総合、大泉桜、大山、北園、北豊島工、国立、国際、駒場、産業技術高専、石神井、新宿山吹、新宿、杉並、第一商、第四商、高島、田柄、竹早、千早、豊島、戸山、西、練馬、練馬工、晴海総合、光丘、日比谷、広尾、文京、深川、保谷、稔ヶ丘、武蔵丘、向丘、六本木、等

私立 : 安部学院、青山学院、開成、東京家政大附属、川村、関東国際、関東第一、慶応義塾、慶応志木、京華、京華商、京華女子、東洋大学附属京北、佼正学園、駒込、國學院、栄東、桜丘、十文字、淑徳、淑徳巣鴨、順天、昭和第一学園、城西大城西、女子美大附、杉並学院、駿台学園、正則学園、専修大附、大東文化第一、中央大学、中大附、中大杉並、帝京、貞静学園、東洋、東洋女子、東京成徳大、豊島学院、二松学舎、日大鶴ヶ丘、日大櫻丘、日大一、日大豊山、日大豊山女子、日本工大附駒場、法政第二、豊南、保善、堀越、目白研心、武蔵野、明治学院、早稲田本庄、早稲田大学高等学院 等

3 交流活動の重視

本校では「先輩の背中から学ぶ」ということが盛んに行われています。日常的に教科センター方式での移動では、先輩と後輩の交流が行われており、身近に手本となる先輩がいるのが赤二中の伝統の一つになっています。運動会や合唱コンクール、さらには7年生の移動教室、9年生の修学旅行などの宿泊行事等においても、他学年との交流活動を重視した教育実践に力を入れています。教科センター方式の校舎で学ぶ生徒の“主体性”を育成するには、他者を思いやる心こそがより良い集団生活の向上や規律の遵守につながると考えているからです。

4 卒業生の声

赤二中では卒業生が、毎年後輩や新入生達にメッセージを送っています。生徒の声を一部紹介します。

●赤二中は他の学校にはない教科センター方式を取り入れていて、自分が各教室へ行き、授業を受けます。移動するために時計をよく確認するようになり、計画性をもって行動ができるようになりました。新しい仲間が増えたり、勉強も難しくなったりするけど、卒業まで諦めずに頑張ってください。

●赤二中は「集団美」というものにみんなで取り組んでいるので、みんなで意識を高められる学校。この「集団美」を意識して三年間過ごすと、学年全体が一つになり、みんなでカッコいい姿を後輩達に見せることができる。

●赤二中はグループ活動が盛んに行われているため、自然とコミュニケーション能力が身につきます。部活動でも先輩・後輩関係なく楽しむことができます。

●9年生になると進路選択になります。自分に今できることを考えて一つ一つ取り組んでいてください。1日1日を大切に。

5 部活動

小学生の皆さんから、「赤二中の部活動は盛んですか。」「赤二中にはどんな部活がありますか。」という質問がよくあります。部活動は変わること

もありますが、今年度は以下の部活動が開設されました。

それぞれの部で、多くの生徒が熱心に活動し、成果をあげています。部活動は週に活動する時間が区で決められており、その時間のなかで工夫して実施しています。また、上記以外の運動部活動で教員引率が必要な大会については原則として参加していません。詳細を確認したい方はご相談ください。



	7年	8年	9年	合計		7年	8年	9年	合計
野球	10	11	4	25	陸上競技	14	16	10	40
サッカー	16	9	19	44	吹奏楽	15	9	6	30
ソフトテニス	18	20	28	66	美術	22	20	17	59
男子バスケットボール	11	16	8	35	自然観察	14	1	6	21
女子バスケットボール	12	6	5	23	茶道	5	7	10	22
女子バレーボール	19	13	11	43	華道	1	0	3	4
バドミントン	33	13	22	68	演劇	7	10	5	22
剣道	2	2	6	10	入部数合計	199	153	160	512

近年の部活動の主な成績・表彰

(野球部)	板橋区少年野球親善大会 第3位
(陸上競技部)	全日本中学校陸上競技東京都大会 東京都総合体育大会出場 板橋区民大会 総合優勝
(バレーボール部)	板橋区夏季総合体育大会 板橋区7位、4ブロック大会出場 (R4)
(バドミントン部)	板橋区民大会 男子シングルス2部 優勝 (R6)
(男バスケ部)	板橋区民大会 第3位 (R6)
(女バスケ部)	板橋区新人大会 第3位 (R5) 板橋区民大会 第3位 (R6)
(剣道部)	板橋区夏季総合体育大会 女子団体4位 (R5) 夏季剣道大会 第4ブロック 男子団体 BEST 4 都大会出場 (R6)
(ソフトテニス部)	板橋区夏季選手権大会 男子団体5位 都大会出場 (R5) 男子個人5位 (R6)
(華道部)	小原流学生いけばな競技会参加
(吹奏楽部)	東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞 (R6)

6 サタデースクール(土曜授業)のお知らせ

令和6年度 9月21日 12月21日 1月18日 *前日にHP等で実施の有無をご確認ください。

7 新入生保護者対象 入学説明会のお知らせ

令和7年2月14日(金)に、本校に入学を控えた保護者対象の授業公開及び説明会を予定しております。詳細は小学校を通じてお知らせいたします。

本日は、ありがとうございました。